

11月12日
(土)

教育の礎は中山道にあり

場所:図書館 本館2階 郷土資料コーナー、学習室

郷土の歴史再発見 企画展・講演会

企画展「みずほの教育事始～ふるさとの学校、ふるさとの教育～」講演会「学校建築に見る近代教育の始まり」

長森東小学校長（元岐阜県歴史資料館勤務）蓑島一美先生をお招きして、瑞穂市をはじめとする明治初期の旧岐阜県の小学校設立状況や校舎の建築様式などを、スライドや写真を用いながら学ぶ講演会が開催されました。

鉄道ライフラインが整備される以前は、中山道の交通が栄え、商売が繁盛していた背景があり、中山道沿いにあった岐阜県内の地域の教育水準は全国でもトップクラスを誇っていたこと、中山道経由で西洋の最新文化が伝承され、当時の市内の新築校舎は擬洋風建築という和洋折衷の造りがいち早く用いられたこと等、教育の発展に中山道の存在があったことが繋がると、出席者はますます話に聞き入っていました。

また、10月25日（火）から11月23日（水・祝）まで、企画展「みずほの教育事始～ふるさとの学校、ふるさとの教育～」が開催され、図書館の来館者はガラスケースを覗き込んだりする等、とても興味深いようすで見入っていました。



△企画展のようす

11月28日
(月)

男性も女性も活躍できる社会を目指して

場所:本庁舎公室

「瑞穂市と朝日大学との男女共同参画・女性の活躍推進事業の連携に関する覚書」締結式

瑞穂市では、若年層を含めたあらゆる世代への継続的な男女共同参画の意識啓発として、平成26年度から3か年にわたり、朝日大学と協力して学生と社会人との意見交換会を実施しています。

内閣府が主唱する「男女共同参画週間（毎年6月23日～29日）」にあわせ、今後も朝日大学と協同で学生と社会人との意見交換会を毎年6月に定期的に行い、継続的な意識啓発の機会とすることを予定しています。

※この意見交換会に参加いただける社会人のかたを募集しています。くわしくは、広報5月号に掲載します。



△朝日大学学長 大友 克之氏(右)

12月7日
(水)

全国から笑顔をありがとう 500人達成!!

場所:棠南庁舎下水道課

マンホールカード配布

全国で盛り上がりを見せているマンホールカード。なかには北海道のかたもご来庁いただき、12月7日ついに愛知県からお越しのかたで500人を達成しました。そのかたに「かぎりぬいぐるみ」「富有柿」等の記念品を贈呈しました。

今後もカードの配布を通じて多くの笑顔を楽しみにしています。



11月30日
(水)

総合戦略事業の評価について答申

場所:本庁舎市長室

平成27年度実績を評価

今年9月に「瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略にもとづく事業の実績評価」について諮問を受けた総合計画等評価審議会が、審議結果をまとめた答申書を市長に手渡しました。

審議会では、平成27年度に市が実施した11事業について、その事業結果が目的達成に有効であったか評価を行い、事業実績評価書を作成しました。

答申にあたり、審議会の畦地会長からは、「PDCAを実施し改善すべき事業もあるが、全体としては、市の人口増加と移住定住促進のため今後も事業を推進してほしい」と市長に伝えられました。



△審議会会長 畦地 真太郎氏(左)

11月30日
(水)

認知症を地域で支えるまちを目指して

場所:本庁舎公室

瑞穂市オレンジ連携協定締結

市では、認知症のかたを地域で支えるまちづくりの推進を目指し、もとす医師会、もとす歯科医師会、もとす薬剤師会、瑞穂市社会福祉協議会およびエーザイ株式会社との間において、瑞穂市オレンジ連携協定を締結しました。

今後、この協定に基づいて関係団体と連携を図り、認知症に関する必要な取り組みを進め、認知症予防を推奨し、たとえ認知症になっても安心、安全に暮らし続けることができるまちづくりを進めます。

